

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた題材構想 < 図画工作 >

特別研修員 図画工作 茂木 明美 (小学校教諭)

**題材名** 『わたしなりの見方で』 (第4学年) 全1時間計画  
**題材の課題**

地域の作家の作品の気に入ったところを見付け感じたことを伝え合う活動を通して、美術作品の造形的なよさや面白さについて考え、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

## 地域の人材や物的資源を活用した授業構想

本題材では地域の人材や物的資源の活用の観点から、太田市の作家である正田謙さんの作品を鑑賞題材として取り上げました。市内のホールや図書館等の様々な場所に作品があることから、正田さんは正に地域に根差した作家だと言えます。絵を見て自由な想像が膨らみ、見方や感じ方が広がるだけでなく、学習後に地域で正田謙さんの作品と出会い学んだことを生かせると考えました。



正田謙 「虹」

### 作品のもつ教材として特徴

カラフルで鮮やかな色使い

身近で多様なモチーフ

物語のような世界

絵のどこからでも入りやすい作品

### 特徴を生かした構想のポイント

色や多様なモチーフなど  
 様々な視点から見て  
 楽しむ活動

どの部分から見始めても  
 他の部分と自然と結び付け  
 自分なりの解釈につながる

見方の広がり

過程	主な学習活動	
出会う	全体	1. 鑑賞対象と出会う。 「虹」の作品の実物大の図版を見て、感じた第一印象や疑問、気付きを出し合う。 題材の課題 絵を見て気に入ったところを紹介しよう。
	個人 グループ	2. 細かいところ、気になるところに着目して鑑賞する。 A4判の図版を見て気に入った部分に印を付け、感じたことを書き込む。 4人グループで紹介し合い、グループ用の図版に、簡単な言葉で書き込む。
確かめる	個人	3. 考えを交流し、見方や感じ方を広げたり、深めたりする。 文字のみが見えるようにしたグループ用の図版を他のグループと交換し、書き込みの言葉に合うところを、自分なりの見方や感じ方で見付ける。 見付けたことを手掛かりに、絵の中でどんなことが起きているかを自分なりに考え、ワークシートに記述する。
	個人	
広げる・深める	個人	4. 鑑賞活動を振り返る。 始めと比べて新たに気付いたこと、自分の見方や感じ方で変わったことについて振り返りを書く。 多様な見方で楽しんで見てほしいという作家の思いを知り、本時の学習活動で達成できたことを実感する。
	個人	
振り返る	個人	5. 鑑賞活動を振り返る。 始めと比べて新たに気付いたこと、自分の見方や感じ方で変わったことについて振り返りを書く。 多様な見方で楽しんで見てほしいという作家の思いを知り、本時の学習活動で達成できたことを実感する。
	全体	

## 実物大の作品を皆で見て題材の課題へ



実物大の図版を皆で

印象や気付きを自由に発言する活動  
 人によって感じ方が違うことの確認  
 友達と作品を味わうことを提案

題材の課題

## 三つの工夫で個人の鑑賞を充実させる

教材	鑑賞の視点	活動の例示
 手元のA4判図版でじっくりと	こう感じたよ こう見えたよ こう言ってるよ こんなことしている 視点をもって	 水の中みたい。 児童の発言を生かした書き方例を参考に

自分なりの見方で

## グループ用のA3判の図版で見方や感じ方を共有

透明シート

図版

蝶が望遠鏡で見ている。人が蝶を見てるのかも。  
 “気になった”と書いておこう。

## 友達の気付き(書き込み)を手掛かりに、自分の見方で

他グループの書き込み(文字)

紙を挟んで文字だけに

図版

家族みたいとあるよ。シャボン玉も家族みたい。これがお父さんだよ。  
 ひまわりも家族だと思うな。

この家族は全員魔法をもっている。例えば長女が触れたものからは全部虹が出る。次女がシャボン玉を吹くと、突然空に絵が出てくる。(略)とてもユニークな、楽しい魔法の家族。(記述例)

指導例：『わたしなりの見方で』（第4学年 第1時）

1 鑑賞対象と出会う。

「虹」の作品の実物大の図版を見て、感じた第一印象や疑問、気付きを出し合う。

題材の課題 絵を見て気に入ったところを紹介しよう。

2 細かいところ、気に入ったところに着目して鑑賞する。

配付したカラー図版を見て、個人で気に入った部分にペンで印を付ける。鑑賞の視点（こんな風に感じたよ こんな風に見えたよ こんな風に言っているよ こんなことしているよ）に沿って感じたことを書き込む。

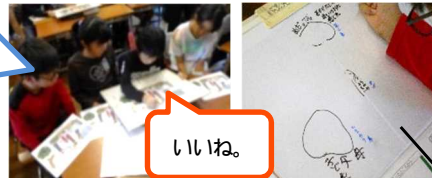
花から出ている虹が気に入ったよ。花の色が混ざって虹になったのかな。



花の色が混ざって虹になったのかな。

気に入った部分やその部分から受ける感じを紹介し合い、透明シートをかぶせたグループ用カラー図版に、簡単な言葉で書き込む。

ぼくはここが気に入ったよ。蝶が望遠鏡で見ている。いや、人が蝶を見ているのかも。



いいね。

3 考えを交流し、見方や感じ方を広げたり、深めたりする。

透明シートとカラー図版の間に画用紙を挟んで文字だけが見えるようにして他のグループと交換し、他のグループの書き込みの言葉に合うところを、自分なりの見方や感じ方で見付ける。

T: 「家族」ってあるね。

S: 絵の中から「家族」を見付けよう。

S: このシャボン玉が家族に見えるな。大きいのはきっとお父さんだよ。

S: ひまわりも家族だと思うな。



グループや個人で見付けたことを手掛かりにして、絵の中でどんなことが起こっているかを自分なりに考え、ワークシートに記述する。

花の色が混ざって虹になったのかな。

この家族は全員魔法をもっている。例えば長女が触れたものからは全部虹が出る。次女がシャボン玉を吹くと、突然空に絵が出てくる。(略)とてもユニークな、楽しい魔法の家族。

<学習活動2から変容が見られたAさんのワークシートの記述>

4 本時のまとめ・振り返りをする。

授業を通して分かったことや気付いたことについて振り返りを書く。多様な見方で楽しんで見てほしいという作者の思いを知り、本時の学習活動でできたことを実感する。

T: 正田譲さんは「何を感じるかは見る人の自由」だと語っていたんだよ。

S: そうか。見ているうちにいろいろと発見できて、作者の思いに合ったな。

S: 一人で考えるよりも、友達の意見を聞いた方が想像が膨らんだよ。

鑑賞して直感的に感じ取ったことを伝え合う活動を設定する

はじめにじっくりと絵に向き合わせるために実物大の図版に集め、作家名や作品名等の知識を与えず児童の発言を自由に引き上げる。形や色などを意識させる。



A4判の図版を全員に配付し、印を付けさせて細部に注目させる

「絵のどこが気に入ったのか」自分の絵の見方を自覚させるために、図版にペンで印を付けさせる。鑑賞の視点を確認した後、活動の仕方を例示することで感じたことを引き出せる。

気に入ったところから考えたことをグループに伝えさせる

グループに伝える際の手順・ルールを確認し、やり取りがスムーズにできるようにする。  
考えを伝える  
考えを聞いて反応を返す  
透明シートに書き込む

他のグループの見方を基にして見方を広げて鑑賞させる

他者の見方からどう自分は感じるか、他者の言葉をキーワードにして、改めて絵を見ることで、自分の見方も広げることができる。

個人鑑賞に戻り、自分の見方の深まりを実感できるようにする

グループ活動を経て見付けたよさを踏まえて、再度、個別に絵と向き合わせ、絵についてより深く感じ取れるようにする。

# 図画工作科学習指導案

令和元年10月 4年 指導者 茂木 明美

題材名 わたしなりの見方で

## 学習指導要領上の位置付け

### B 鑑賞

- (1) ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

#### 【共通事項】

- (1) ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。  
イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

## 目 標

郷土の作家である正田譲の作品の鑑賞を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 鑑賞の対象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じが分かる。 (知識及び技能)
- イ 地域の作家の美術作品の造形的なよさや面白さについて考え、自分の見方や感じ方を広げる。 (思考力、判断力、表現力等)
- ウ 進んで鑑賞する活動に取り組み、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

指導計画 別紙参照

## 本時の展開（1 / 1）

- ねらい 地域の作家の作品の気に入ったところを見付け感じたことを伝え合う活動を通して、美術作品の造形的なよさや面白さについて考え、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。
- 展開

学習活動（分）	留意点	点線囲：評価	：振り返りの子供の意識
<b>1 鑑賞対象と出会う。（7分）</b> 「虹」の作品の拡大図版を提示し、感じた第一印象や疑問、気付きを出し合うよう促す。 気に入ったところやどのような感じを受けるかは人によって違うことを確認し、本時は友達と作品を味わうことを提案し、題材の課題を導き出す。			
題材の課題 絵を見て気に入ったところを紹介しよう			
<b>2 細かいところ、気に入ったところに着目して鑑賞する。（10分）</b> カラー図版を一人1枚配付し、個人で特に気に入った部分を見付け、印を付けるよう促す。 数名を指名し、気に入ったところからどのような感じを受けるかを聞き、フラッシュカードに書いて拡大図版に貼り、それらを基に以下4点を鑑賞の視点として板書に示す。 こんな風を感じたよ（きれい、かわいい等） こんな風に見えたよ（ふわふわ、ごぞごそ等） こんな風に言っているよ（飛びたいな、楽しいな等） こんなことしているよ（隠れている、虹を見ている等） 透明シートをかぶせたA3版のカラー図版をグループに1枚配付し、気に入った部分やその部分から受ける感じを紹介し合い、透明シートに簡単な言葉で書き込むよう促す。 透明シートの記入のルールを確認する。			
<b>3 考えを交流し、見方や感じ方を広げたり、深めたりする。（20分）</b> 透明シートとカラー図版の間に画用紙を挟んで文字だけが見えるようにして他のグループと交換し、他のグループの書き込みの言葉に合うところを、自分なりの見方や感じ方で見付けるよう促す。 ワークシートを配付し、再度美術作品を見直して、見付けたことを手掛かりにして、絵の中でどんなことが起こっているかを自分なりに考えて書くよう促す。			
地域の作家の美術作品に興味をもち、話し合ったり書いたりする活動に進んで取り組んでいる。 美術作品の造形的なよさや面白さに触れながら、絵の中から自分なりに考えた出来事をワークシートに書いたり話したりしている。			
「努力を要する」状況にある児童には、透明シートに書き込んだことを基にそこからどんな話ができそうかを問い掛け、関係しそうなところや共通しているところを見付けるとよいことを助言する。			
<b>4 本時のまとめ・振り返りをする。（8分）</b> 今日の授業を通して、分かったことや気付いたことについて振り返りを書かせる。 「虹」は郷土の作家の作品であることを紹介し、「鑑賞する人にも楽しんでもらう。何を感じるかは見る人の自由。」という作者の思いを伝え、児童の本時の活動の様子を称賛する。 見ているうちにいろいろと発見できて、作者の思いに合っていたね。一人で考えるよりも、友達の意見を聞いたほうが想像が膨らんだよ。			

指導計画 図画工作科 第4学年 単元(題材)名「わたしなりの見方で」(全1時間計画)

目 標	郷土の作家である正田譲の作品の鑑賞を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
	ア 鑑賞の対象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じが分かる。 (知識及び技能) イ 地域の作家の美術作品の造形的なよさや面白さについて考え、自分の見方や感じ方を広げる。 (思考力、判断力、表現力等) ウ 進んで鑑賞する活動に取り組み、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)		
評価 規 準	(1) 地域の作家の美術作品に興味をもち、鑑賞する活動に進んで取り組んでいる。 (4) 自分なりにイメージをもち、作品の造形的なよさを感じとり、自分の見方を広げている。		
過 程	時 間	ねらい めあて	振り返り(意識)
出 会 う 確 か め る 広 げ る ・ 深 め る 振 り 返 る	1	題材の課題 絵を見て気に入ったところを紹介しよう。 地域の作家の作品の気に入ったところを見付け感じたことを伝え合う活動を通して、美術作品の造形的なよさや面白さについて考え、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。	見ているうちにいろいろと発見できて、作者の思いに合っていたね。一人で考えるよりも、友達の意見を聞いたほうが想像が膨らんだよ。
			評価項目 <方法(観点)> 地域の作家の美術作品に興味をもち、話し合ったり書いたりする活動に進んで取り組んでいる。 <観察、発言(1)> 美術作品の造形的なよさや面白さに触れながら、絵の中から自分なりに考えた出来事をワークシートに書いたり話したりしている。 <観察、発言(4)>